

このページの番号は消した。

ブランクページが望まれた場合は空行でいい。

はじめ

このページは 0 にセットした。これから数学・物理レポート用の L^AT_EX テンプレートを作ってみたいと思う。字下げは 1 文字にしてあるが、しばらく変更しないとする。

まずは書式。基本的に太字と下線以外、英字のみ対応できる。

Basic Typewriter Sans Serif *Italic* Slanted **Bold** SMALL CAPITALS Underline

基本 太字 下線

- 箇条（番号なし）
- 箇条

1. 箇条（番号あり）

2. 箇条

普通の記号については、

“ ”(公式の外なら“”)… #\$\$%&_{_}\{}

のように書く。

0 節・段落

\setcounter で -1 にセットしたので、この節は 0 になる。counter は、現在の状態を変更する。

0.1 Subsection

Subsection 1

0.2 Subsection

Subsection 2

1 公式

文章の中で公式を書くのは $E = mc^2$ のように、また独立の行で

$$E = mc^2$$

このように実現する。またもう一つ独立な公式の書き方は

$$1 + 1 = 2 \tag{0}$$

このようである。そこに番号はついてあり、同じく counter でリセットできる。

$$U_k = \frac{1}{2}mv^2 \tag{1}$$

(1) を引用する場合は、`\label` を使う。この二つの様式を活用して、見やすいレポートが作れる。また、上付き文字と下付き文字も、それぞれ集合して

$$\overset{\textit{upper left}}{j_1 j_2 \dots j_q} T_{\textit{lower right}}^{i_1 i_2 \dots i_p} = T(x^{i_1}, \dots, x^{i_p}, e_{j_1}, \dots, e_{j_q})$$

このようにも表現する。

積分は \int で、分式は $\frac{a}{b}$ 。上付き *upper* と下付き *lower* はこのように書き、積分の上下限も同じ。偏微分の記号は ∂ で、ベクトルは \vec{A} である。ルートは \sqrt{x} と $\sqrt[n]{x}$ で、

$$\int_0^1 \frac{dx}{e^x} = \frac{e - 1}{e}$$

グリシア小文字は ω, δ で、大文字は Ω, Δ で書く。

三角関数、対数関数等特殊な関数は、`\backslash`が必要となる: $\sin(\beta), \cos(\alpha), \log(x)$ 。

定理 1. 定理などの項目序列は定義できる。